

# 2019 DECEMBER

JICA北海道(札幌)

12月21日(土)

## 道内最大の国際協力イベント

今年で22回目を迎える国際協力フェスタでは「SDGs for all ~“ちがいを”知ろう!楽しもう!~」をテーマに、国際交流や国際協力活動を続ける約30の企業、団体、NPOなどが集まって、さまざまな催しを行う。チャリティバザーや活動紹介、ステージイベントなどを通して、楽しみながら国際協力について理解を深められるイベントとなっている。



●北海道国際協力フェスタ2019  
「SDGs for all ~“ちがいを”知ろう!楽しもう!~」

日時: 2019年12月21日(土)  
会場: 札幌駅前地下広場(チ・カ・ホ) 北3条交差点広場  
北海道札幌市中央区北1条  
主催: 北海道NGOネットワーク協議会  
(北海道国際協力フェスタ実行委員会)

入場無料、事前申し込み不要。

詳細はJICA北海道(札幌)まで。  
(TEL: 011-866-8421)

詳細はこちら/



JICA東京

12月21日(土)

## 東京SDGs吹奏楽団 ウィンターコンサート

●JICA東京×東京SDGs吹奏楽団ウィンターコンサート  
「音楽で国際協力!

~音楽を通してSDGsについて考えよう~  
日時: 2019年12月21日(土) 15:00~17:00(開場14:30)  
会場: JICA東京 講堂 東京都渋谷区西原2-49-5

入場無料、事前申し込み不要。

詳細はJICA東京まで。  
(TEL: 03-3485-7680)



JICA東京公式サポーターでもある「東京SDGs吹奏楽団」は音楽を通してSDGsを広める活動をしている。今回はJICA東京で「東京SDGs吹奏楽団ウィンターコンサート」を開催。楽団のオリジナル曲である「SDGs賛歌」やクリスマスソングなどを披露する。

### イチオシ! 映画の新着情報



©Big World Cinema

『ラフィキふたりの夢』  
本作は、カンヌ国際映画祭史上初のケニア映画として出品。世界から熱く支持されたにもかかわらず、本国ケニアで観ることができないのは、二人の少女が恋に落ちる物語が、いまだ同性愛が違法とされ禁固刑に処されることもあるケニア国内で問題視されたためだ。  
タイトルにある「ラフィキ」とは、スワヒリ語で友達という意味。二人の少女の友情はやがて淡い恋に変わるが、性愛に対する古いしきたりと偏見、社会の壁が少女たちに厳しい選択を迫る。音楽、ダンス、ファッション、アート——ポップでカラフルなアフリカンユースカルチャーにのせ、ケニア社会が抱える葛藤を鮮やかに描く。映画祭への出品の条件を満たすため、同国で1週間だけ公開された際には若者が長蛇の列を作ったという。変革期を迎えつつあるケニアを知るにも重要な一作。

2018年/ケニア、南アフリカ、フランス、レバノン、ノルウェー、オランダ、ドイツ/82分  
配給: サンリス 監督: ワヌリ・カヒワ  
11月よりシアター・イメージフォーラムほか全国順次公開中。



©fechnerMEDIA

『気候戦士』  
『クライメイトウォリアーズ』  
本作は世界が抱えている気候問題に挑戦する、気候活動家、に密着したドキュメンタリー。  
彼らは最先端のテクノロジーや創造的な社会変革行動を武器に闘う、気候戦士だ。  
温室効果ガスは汚染物質だと認めさせるために米政府機関を提訴したアーノルド・シュワルツェネッガーさんや、気候変動を阻止するために積極的に活動する17歳のヒップホップアーティストのシューテスカット・マルティネスさん、孫の世代のためにわらを活用したバイオマス発電を実用化した発明家など、さまざまな視点で活動している人びとを紹介していく。  
監督のカーラ・フエヒナーさんは「立ち上がろう!そして100パーセント再生可能エネルギー実現のために今こそ行動しよう!」と呼びかける。

2018年/ドイツ/86分  
配給: ユナイテッドピクチャーズ  
監督: カーラ・フエヒナー  
11月29日(金)より、ヒューマントラストシネマ渋谷ほか全国順次公開中。